

令和7年度 第80回大阪高校総合体育大会〈女子の部〉 兼 第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大阪予選

期間 令和7年9月6日(土)～10月19日(日)

大会要項

1 参加資格

- ①令和7年度(公財)日本サッカー協会、大阪高体連サッカー部に加盟登録した高等学校チームおよび大阪高体連が特認した学校チームであること。
- ②選手は令和7年4月以降当該年度に在学し、平成18年4月2日以降に生まれた者により編成された単独チームであること。ただし、選手の出場は、同一競技3回までとし、同一学年での出場は、1回限りとする。
- ③統合の対象となる学校については当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。また、部員不足の学校については、合同チームによる大会参加を認める。
- ④(ア)転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、大阪高体連会長の許可があればこの限りではない。(イ)高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。(ウ)転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定の適用は当該年度内に限るものとする。
- ⑤7月のゾーン別諸手続き以降に追加登録する場合は大会1回戦の1か月前までに登録手続きを完了しなければならない。完了しなければその選手は大会に出場することができない。
- ⑥4級以上の審判資格を有する生徒が最低2名以上いる学校チームであること。

2 競技規則

- ①1～3回戦は(公財)日本サッカー協会制定の競技規則2024/2025、決勝リーグは(公財)日本サッカー協会制定の競技規則2025/2026による。規律委員会処分内容も含む。(ハンドブックを参照のこと)
- ②選手の交代は5名まで交代できる。試合開始前に交代要員最大9名の氏名を主審に通告しておき、競技が停止しているときに主審の許可を得てから交代する。交代した選手はその試合に再び出場することはできない。
- ③試合中においては、チーム要員及び交代要員は、会場で指定された場所にいること。
- ④ベンチに入ることができる者は、最大20名の選手・および最大10名までのチーム要員・チーム補助員のみとする。
- ⑤決勝リーグから試合中の交代回数を、各チーム最大3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)ただしハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない。
- ⑥1試合において、各チームの最大1名の「脳振盪による交代」を使うことができる。(再出場なし)その場合は、「通常の交代」の人数及び回数の制限とは別に取り扱われる。相手チームが「脳振盪による交代」を使用した場合は、自チームは追加で1名を交代させることができる。(この場合の交代理由は脳振盪であるか否かを問わない)※別紙参照

3 出場停止

- ①試合中退場処分を受けたチーム要員・選手は、本大会1試合を出場停止とする。以後の処置については規律委員会にて審議し、常任委員会で決定する。
- ②今大会において累積された警告が2回に及んだチーム要員・選手は、本大会の次の1試合の出場資格を失う。さらに、2回の累積警告を受けたチーム要員・選手は、本大会における次の2試合を出場停止とする。
- ③次の場合、そのチームの出場を停止する。
(ア)教員又は部活動指導員がいないとき。(試合開始時間までに会場責任者に出席を知らせる。)
(イ)参加資格に違反したり、不都合な行為があったとき。(常任委員会が決定する。)
- ④試合開始時刻までに、(公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付により、顔の認識が確認できるもの)を会場責任者に提出しない個人は、その試合に出場できない。※選手証とは、(公財)日本サッカー協会のWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。2025年度のJFA Web登録申請後にプリントアウトした「継続登録申請書」および「追加登録申請書」で出場できない。

4 競技方法

- ①試合時間は、予選トーナメントを70分(35分・5分・35分)とし、決勝リーグを80分(40分・10分・40分)とする。
- ②トーナメント方式とし、勝敗が決しないときは、PK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回への進出校を決定する。
- ③決勝リーグでは延長戦も行わない。ただし、引き分けの場合はPK方式により、その結果を順位決定時の参考とする。順位は次の順で決定する。
(ア)勝ち点〔勝(3)引分(1)負(0)〕(イ)全試合の得失点差(ウ)全試合の総得点数(エ)当該チームの対戦成績
(オ)PK方式による勝ち数の多い方を上位とする。
(カ)抽選(全試合終了後、当該チームの代表者を集め、審判部長・競技部長の立ち会いのもとに行う。)
- ④試合の前日正午までに、競技部長・女子部長・会場責任者・相手チーム・審判の5者に連絡することなく、無断で試合を棄権したチームは、厳重なる警告を受けるとともに、今後の公式戦に出場停止の処分を受けることがある。リーグ戦で棄権チームがでた場合は、そのチームが関係する全ての試合結果を抹消して順位を決定する。
- ⑤試合開始時刻までに、選手の数7名未満のときは棄権とみなす。
- ⑥前大会(大阪高校春季サッカー大会)のベスト4進出校は振り分け抽選をおこなう。(合同チームは該当しない。)
- ⑦前大会(大阪高校春季サッカー大会)のベスト8進出校は振り分け抽選をおこなう。(合同チームは該当しない。)
なお勝ち上がり表については女子部で作成し常任委員会で決定する。
- ⑧暑熱下の試合においては、審判と会場責任者の判断で、熱中症予防の飲水の時間をとることがある。
- ⑨合同チームが複数ある場合は、ブロックを振り分ける。
- ⑩1位・2位が第34回全日本高等学校女子サッカー選手権に出場する資格を得る。

5 服 装

※選手の用具に関する運用緩和は行わない

- ①各チームはユニフォームを統一し、必ず背番号を付けること。背番号はできるだけ固定すること。
- ②チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ③予備として異色のユニフォームを用意すること。(用意のない場合は棄権とみなす場合がある。ハンドブック「内規(申し合わせ事項)大会運営について」を参照のこと。)
- ④ユニフォームの背番号は服地と明確に区別し得る色彩とする。(服地が縞柄などであって明確な識別が困難な時には、台地をつける)

6 その他

ハンドブックの諸注意をよく読んで間違いのないようにすること。

☆会場責任者の先生へ

- ①事故・問題（退場も含む）があったときは、専門委員長 藤井寺工科高校・村井先生（携帯 090-9114-4117）か競技部長 西野田工科高校・寺岡先生（携帯 090-7137-7447）まで至急ご連絡ください。緊急時の対策についてはハンドブック「内規（申し合わせ事項）*大会運営について」を参照してください。
- ②全試合終了後、直ちに試合結果を「試合結果報告書」に記載された送付先までFAXまたはデータで送り、同時に電話での確認も必ず行ってください。また、施設賠償責任保険に関わる各チームの参加人数も同報告書に記入してください。なお、記録用紙・審判報告書は調査研究部長（摂津高校・松原先生）までお送りください。
- ③退場および退場に値する行為（警告2度による退場は除く）があった場合は、審判の先生に「重要事項報告書」も記入していただき、完成したものを審判の先生の方で専門委員長 村井先生（藤井寺工科高校 FAX 072-955-0098）と調査研究部長 松原先生（摂津高校 FAX 072-634-1472）まで、FAXで当該試合の翌日中に送付していただくように連絡をお願いします。（原票は審判の先生の方で保管してください。）
- ④大会要項の競技規則③に従って、会場本部（ハーフウェイライン近く）の左右にベンチをご用意ください。ベンチの指定は対戦表の左側（上側）がピッチに向かい左、右側（下側）が右と定められています。
- ⑤会場設営及び運営に当たり次の点についてお願いします。
 - ・ゴールポストの固定
 - ・メンバー用紙提出に当たり、先発メンバー・交代要員のすべての姓名・ポジション・背番号を明記のこと。
 - ・選手交代時のチェック、担架の用意
- ⑥退場及び警告累積2回の選手については、試合当日までに当該校の顧問宛に確認を取ってください。

☆審判の先生へ

- ①審判の割り当て変更は、香ヶ丘リベルテ高校・梶谷哲央先生までご連絡下さい。その際に電話連絡に加えてFAXでも必ず変更内容を送付して下さい。

香ヶ丘リベルテ 高校 TEL 072-238-7881 FAX 072-227-4191
- ②退場および退場に値する行為（警告2度による退場は除く）があった場合は、「重要事項報告書」も記入し、審判の先生の方で、専門委員長 村井先生（藤井寺工科高校 FAX072-955-0098）と調査研究部長 松原先生（摂津高校 FAX 072-634-1472）まで、FAXで当該試合の翌日中に送付していただくようにお願いします。（原票は審判の先生の方で保管してください。）
- ③試合開始70分前までに会場に到着し、会場責任者と両チームでユニフォームチェックを行ってください。

☆会場でのマナーについて

- ①応援について、太鼓・ラッパなどの鳴り物の使用は会場校と連絡を取ること。応援のマナーとして言葉遣いに注意すること。
- ②最終ゲームの勝利チームは、試合終了後速やかに会場係の先生に申し出て、グラウンド整備・ごみ処理などを手伝うこと。また、公営のグラウンドを使用する場合は、試合を行うチームが会場の美化に努めること。（自チームの試合終了後に、自分たちが使用した更衣室などの清掃を行う。）
- ③各チームの出したごみは必ず持ち帰ること。
- ④応援の保護者・OB等の車による学校会場校への来場は禁止します。また公営会場での駐車マナーにも注意すること。
- ⑤公共交通機関利用時の乗車マナーなどに注意すること。

☆ユニフォームについて

- ①対戦校同士のユニフォームが同系色で、レフリーがジャッジするのが困難とみなした場合、試合で使用するユニフォームをトスで決定する。その際、トスで負けたチームは予備の異色のユニフォームを使用すること。持ち合わせていない場合は棄権とみなす場合がある。
- ②ユニフォームとしてビブスは使用不可。また、他チームとの貸し借りも不可。

☆大会当日に事故・傷害等が発生した場合について

※高体連災害補償制度はなくなりました。

- ①大会当日に事故・傷害等が発生した場合は、各学校で加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度等をご活用ください。
- ②試合中などに器物破損等が発生した場合は、専門委員長 藤井寺工科高校・村井先生（携帯 090-9114-4117）までご連絡ください。

☆その他

試合結果に関してはインターネットの以下のホームページを参照して下さい。

大阪高体連サッカー部（アドレス <http://osaka-fa.or.jp/2shu/>）